



飛騨市長 都竹 淳也



新年明けましておめでとうございます。

日頃の市政へのご支援とご協力に対し、心から感謝を申し上げます。昨年は、飛騨市が合併20年を迎え、子どもたちが華々しく主役を飾った20周年記念式典の開催や各町で関連した様々なイベントが開催されるなど、20年を節目に市民の皆さんの大きな盛り上がりを感じた年でありました。

そのような中で、「元気であんきな誇りの持てるふるさと飛騨市」の実現に向け、市民生活や企業活動を応援し、前向きな取組みを積極的に進めてまいりました。同時に市民や市内事業者の方々の素晴らしい取組み、ご活躍の場面も数多く見受けられたところです。

「元氣」という面では、飛騨市に思いを寄せてくださる全国の方々による飛騨市ファンクラブが8年目を迎え、会員数も1万5千人を超え、交流が大きく深まっております。また、新たに企業版飛騨市ファンクラブも発足し、市内の困りごとのお手伝いをさせていただくヒダスケ！もますます活発になっております。

さらに、まちの新たな観光魅力創出のために、市民参加型で市街地の夜間景観を改善する取組を進めました。飲食業界との事業連携による地元食

材魅力発信のためのまるごと食堂を都市部で開催しております。薬草のまちづくりも、全国薬草フェスティバルを飛騨市で開催し、過去最大の出店や来場者数を記録するとともに、飛騨市の取組みをテーマとした書籍が民間から出版されるなど、全国からも高いご評価をいただいています。

次に、「あんき」という面では、飛騨市ダイバーシティ宣言を掲げ、ダイバーシティについての普及啓発活動を推進したほか、市操法大会に代わる飛衛（ひまもり）消火訓練会を初開催し、飛騨市消防団改革の取組を推進しました。さらに、小中学校に作業療法士が定期訪問する回数を拡充し、子どもたちを対象とした思春期健診を新たに開始するなど子どもたちへの支援の取組をさらに深めました。学校作業療法士の取組みについても書籍化され、全国的にも大きな反響を呼んでいるところです。

「誇り」の面では、友好交流都市である台湾の新港郷との友好交流30周年を迎え、記念イベント開催により親交を深めたほか、25年ぶりに岐阜県で開催された国民文化祭では「飛騨市伝統文化オータムフェスティバル」を開催しました。また、医療機関等との医療連携に基づく医療クアオルト健康ウォーキングイベントを初開催し、運

動効果と健康づくりの普及拡大に取り組んだほか、地域クラブ活動移行に向けた取組を進めると共に、様々な高齢者のスポーツ環境整備も推進してまいりました。

本年は、市民生活の足元の課題に目を向けつつ、広い視野でトレンドを捉え、「変革」をテーマに、持続可能な飛騨市づくりをさらに深め、加速させて進めていきたいと考えています。

特に、人口減少、人手不足に対応できる仕組みづくりに取り組み、既存事業の見直しも積極的に行っていきたいと考えています。

この中では、特に公共交通、医療・介護、伝統産業などを支える人材を官民で連携して確保する仕組みを作ることや、地域コミュニティ組織の再編、法人設立の検討などを通じ、少ない人数でも暮らしの質を確保できる基盤づくりを進めてまいります。

物価高など日本経済も多くの課題を抱えておりますが、引き続き丁寧に市民の皆さんの声をお聞きしながら、必要な対策をしっかりと講ずることで誰もが楽しく過ごせる年となるよう頑張っております。新しい年が皆さまにとって幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

飛騨市議会議長
井端 浩二

明けましておめでとうございます。輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表し新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日頃から議会運営や議会活動に対し、温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。昨年2月に市議会議員選挙が行われ、2人が退任、新人2人元職1人を加えた顔ぶれで新たなスタートを切りました。残念ながら5月には谷口議員が逝去され、13人での議会運営となりました。

昨年の事業を振り返りますと、4月には、国史跡に指定を受けた「姉小路氏城跡」が、日本城郭大賞(調査・整備・活用賞)を受賞しました。また9月には、飛騨神岡高校文芸部が「短歌甲子園2024」に出場し、見事準優勝に輝き、これまで続けられてきた事業が全国規模で認められたことを大変喜ばしく感じました。最終12月には、市制20周年を祝う記念式典が行われるなど、市内各地で記念行事が計画され、多くの賑わいをもたらしてくれた1年となりました。

議会活動では、ここ数年続けてきた自由参加の意見交換会から意見を聴くことができなかった保育園保護者の方々やPTAの役員の方々、商工・観光団体等各種団体の方々との意見交換会を行いました。また、地域おこし協力隊の登用の状況、地域クラブ活動開始に向けた体制整備、スケートボードエリアの整備状況、商工業活性化包括支援の状況、獣害対策な

どの市が行っている事務について調査し現場の状況を視察、さらには調査を踏まえた課題を深掘りするため市外への視察などを実施しました。このような活動を通して得られた課題を整理し、12月には市長に対し要望書を提出いたしました。

また、広報広聴特別委員会では、議会だよりの読みやすさを確認するため昨年に引き続き広報モニターによるアンケート調査を実施し、「読みやすくとてもよい」「簡潔にまとめられている」などの一定の評価をいただきました。モニターの皆様からいただいた貴重な意見を参考に今後もより親しみやすい紙面づくりに努めてまいります。

他方、国内の社会情勢を振り返りますと、依然として物価上昇は高止まりであります。コロナの5類移行を受けて、ゆるやかな回復傾向が続き、コロナ禍前の経済状態を取り戻しつつあります。しかしながら、人手不足は顕著であり、制度見直しを含めた多方面に渡る経済政策等が待たれるところです。

市議会としましても、国を始めとするさまざまな政策に注視しながら、市民の皆様が安心して暮らしていけるよう議会活動を進めてまいりますので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい1年となりますよう、議員一同、心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。